

3月9日（木）4年生【「防災を考える」ドローンとプログラミング】

4年生の社会科の「防災について学ぼう」の学習で、この日ゲストティーチャーお2人をお招きし、ドローンを活用した防災の取組について学ぶ学習を行いました。

お招きしたジュニアドローンプログラミング協会の西村さん・内田さんは、本校の「であう学習」の「ドローンプログラミング体験講座」でも、講師として教えていただいています。

ドローンを使うルールやドローンを活用した防災訓練の様子を映像で紹介していただいた後、災害から人を守るためにドローンがどのように活躍できるかについて意見やアイデアをグループで話し合いました。また、全員がプログラミングしたドローンを操作して動かす体験をさせていただき大興奮！どの子も時間いっぱい目を輝かせて参加していました。

振り返りの感想をいくつかご紹介します。

- ・ドローンと言えば、ゲームという感じがありましたが、この学習を通してしっかり法律があり、簡単に飛ばせるものではなく、そして命を守ると思いました。
- ・ドローンは遊ぶためのものだと思っていたけど多方面に活躍していると知りました。ドローンはコントローラーではなく、プログラミングでも動かせると知りました。
- ・ドローンでも人命救助はかなりできると思います。ドローンで救助するのは無理だけど、状況を見られるから人命救助につながると思います。
- ・ドローンで、人が行くことができない場所や危険なところにも行けるからすごいと思いました。これからもさらに活用されるといいなと思いました。
- ・ドローンなら車みたいに渋滞にならずに、空から速く行けるのがよいところだと思います。ドローンで災害から人の命を守れる世界になるのが楽しみです。

